

向上 常に自分を高める 自分を変える



中間テストを6月12日(木)に実施しました。

採点後に解答用紙が返却されます。解答用紙を受け取った後、どうするでしょうか。

もちろん、得点を見るでしょう。

得点を見て、「よかった」とか「まあまあ」とか「よくなかった」とか感想を抱くことでしょう。

桜丘中学校の教育目標の中に「向上 常に自分を高める」があります。

「得点」だけではなく「得点できなかった問題と自分の解答」も見たことでしょう。

「覚えていなかった」「分かっていたのにな」「問題をしっかり読んでいなかったな」などと思ったことでしょう。

そう思いながら「自分の知識や思考過程」を振り返ったことでしょう。ここが大切です。

「振り返り」をすることは、自分を高める方法の一つだからです。

「振り返り」は、毎日の学習活動でも行っています。「分からない」ということもあるでしょう。

「分からない」ということは、目の前で起きていることや他の人が話していることが自分の知識や経験と「つながっていない」状態です。

自分を「分かった」状態にするために「もっている知識や考え方」と「新たに出会ったこと」をつなげることです。そのために「振り返り」を行うのです。

さて、学習内容だけでなく、人と人との関わりについても考えてみましょう。

他の人に自分の考えを「分かってもらう」のは、なかなか難しいものです。

人に何かを伝えようとしたとき

- ・あの人はどうして分かってくれないのだろう。
- ・あの人が自分の都合のよい考え方をするのはどうしてだろう。 と思ったことはありませんか。

「分からない」のは、自分の見方や考え方を広げないため、「分からない」ままなのです。

「分からない」のは、観点が異なるため、「分からない」ままなのです。

「都合のよい考え方をする」のは、特定の部分が自分の見方や考え方とつながったからです。

分かってくれない人のせいにするのは簡単ですが、

他人を変えることは、なかなかできないものです。

相手に変化を求めても 自分の思うとおりに

相手が変わることは、まずありません。

親子でも 兄弟でも 仲間でも心の中は違います。

人の心の中を変えることは誰にもできません。

しかし

自分の心を変えることは、自分でできます。

自分が相手を分かろうとすることは、自分でできます。

様々な見方や考え方を受け止め、他人を尊重することができたとき、心の向きが変わります。

自分の心の向きが変わったとき、言動や行動が変わり、これまでとは違う自分になります。

「ふれコミ隊」の皆さん
自分ができることで地域に貢献してくれてありがとう。

教頭 後藤 弘行